

事業計画書

1. 申請する法人について											
法人名		NPO法人 子ども地域ネットワーク所沢									
法人の設立登記日		2023	年	2	月	6	日				
法人設立前の団体の設立日		2017	年	9	月	1	日	※NPO法人設立前に任意団体等で活動実績がある場合は記載する			
ホームページ・SNS	ホームページ	http://children-tokoro.org/					Facebook	https://www.facebook.com/			
	X (旧Twitter)						YouTube				
	Instagram	https://www.instagram.com/kodomo_net_tokorozawa/					その他				
活動歴・これまでの活動実績 <各活動90字以内>	活動①	イタリア等の教育視察で得た知見を活かし、若者が安心できる「居場所」づくりと学習支援を展開。個々のペースに合わせた学びと多様な価値観を保障しています。									
	活動②	画一的な指導ではなく、若者自身の興味を引き出す対話(アクティブ対話)を通じ、社会の摩擦に向き合い生きる自己解決力を育む不登校支援を行っています。									
	活動③	若者や保護者に対する相談支援では、表面的な悩みだけでなく、発達や心理的背景にまで踏み込んだ根本的な課題に向き合う、丁寧な伴走型サポートを実施しています。									
	活動④	福祉・医療・学校などの関係機関とのダイアログ(対話)を重視。多角的な視点から当事者や家庭を支えるための、包括的な支援ネットワークと連携体制を構築しています。									
	活動⑤	自治会等と連携し、地域で若者を見守る体制を整備。学生の活動支援として企画・実施したイベント「TTF」では、2,000名を集客し、社会との巨大な接点を創出しました。									
助成金等の交付実績 ※ 2023年4月～2026年3月に交付された助成金等を記載 ※ 5件以上ある場合は、直近のものから5件を記載	助成金等名称		交付者			交付年月		交付額			
	助成金等①	こどもの居場所づくり支援体制強化事業費国庫補助金	こども家庭庁			2025	年	6	月	5,000,000	円
	助成金等②	赤い羽根共同募金	埼玉県共同募金会			2025	年	10	月	4,000,000	円
	助成金等③	NPO活動促進助成事業	埼玉県県民生活部共助社会づくり課			2025	年	6	月	500,000	円
	助成金等④	第7回 子ども支援活動助成	公益財団法人 大和証券財団			2025	年	3	月	500,000	円
	助成金等⑤	浅井スクスク基金	(公財)公益推進協会			2025	年	8	月	424,000	円
申請する事業に従事する社員	氏名		役割								
	社員①	金丸 慎一郎	代表理事(無償にて運営統括および組織体制の構築を担当)								
	社員②	清水 康平	副代表理事(無償にて現場運営の責任者、および外部機関との調整を担当)								
	社員③	佐藤 俊介	役員(無償にて相談支援業務、障害福祉機関等への繋ぎ・助言を担当)								
	社員④										
	社員⑤										
	その他従事社員数	5	人	※当事業に有給の従業員はおらず、全員が無償ボランティア(民生委員、自治会役員、元教員等)として現場の見守りや運営協力を担当。							
	従事社員総数	8	人								

2. 申請する事業について

事業名	『地域共創ユースラボ』～学生と専門家が共に挑む地域活性化・自治空間創出プロジェクト～	事業区分	スタートアップ支援事業	事業分野	こどもまんなか
事業対象	小学生から30代までとその保護者を対象。所沢・入間・狭山を中心とした県内	対象地域	所沢・入間・狭山を中心とした県内	事業実施期間	2026/7/1 ~ 2027/2/28

解決したい地域課題及びその現状<300字程度>

若者の孤立や不登校が深刻化する一方、学校の「探究学習」は教室での調べ学習に留まり、学生が地域で実践的に活動し、アイデンティティを築く「自治空間」が圧倒的に不足しています。また、若者と地域の大人(専門家やシニア層)との繋がりも希薄です。
学生が主体的に地域課題に挑む実践の場は、彼らの自立を促すだけでなく、活動を通じて孤立した家庭を自然な形で専門支援へと繋ぐ「福祉の入り口(アウトリーチ)」としても機能します。
本事業は、教育(探究の実践)・地域(多世代共創)・福祉(支援接続)の複合的な課題を、若者と専門家を繋ぐ実践フィールドの創出によって包括的に解決することを目指します。

上記の地域課題の解決に向けた事業の概要<300字程度>

学生の探究学習を地域での実践へと昇華させる『地域共創ユースラボ』を創設します。学生の企画に専門家や地域の大人をマッチングし、企画立案から実行まで伴走支援します。
具体的には、シルバー人材センターや他校・海外の学生を交えた「多世代・異文化交流(川越散策等)」や、地域イベントの自主運営を実施。活動後は独自の「アクティブ対話」で経験を振り返り、学生のアイデンティティと自治力を育みます。
さらに、この開かれた実践フィールドを、不登校等に悩む若者・保護者が自然に繋がれる相談窓口とし、行政や医療等の専門支援へ接続する「地域のハブ(セーフティネット)」として機能させます。

事業効果(※事業の効果はどのように県内広域に及ぶか、単一市町村内で行う事業の場合は、事業の効果が他の地域にどのように裨益するのか具体的に記載)<300字程度>

行政管轄の壁(高校進学に伴う市と若者の接点喪失)を当法人が「ハブ」となって解消し、多世代共創の輪を埼玉県内広域へ波及させる点にあります。
地域への効果として、学生は社会人と対話・実践することで自ら進路を選び取る力を得ます。同時に、若者の活力に触れた大人も新たな価値観を得て、双方向の相乗効果で地域が活性化します。
さらにこの実績は、聖望学園や開智学園など県内約20校のネットワークへ成長しました。今年度は新たに市立川越高校とも連携し、市町村の枠を超え、産官学民が一体で次世代を育む「埼玉型のユース・ハブ」として広域に多大な裨益をもたらします。

事業の発展性(これまでの取組を踏まえ、事業の自立的な運営や効果的な実施に向けてどのような工夫・改善を行うか具体的に記載)<300字程度>

これまで有料だった居場所を完全無料の「地域のリビング」として開放し、利用者層を大幅に拡大します。所沢市「ジュニアリーダー」の活動拠点(ラボ)としても連携し、3年間で培った大学生や地域人材をロールモデル(伴走者)として配置することで効果的な支援体制を構築します。
自立的な運営に向けては、学習支援塾DEKObokoとの協働によりスタッフ配置や施設管理費を効率化します。無料の居場所を入り口として学習・不登校支援へ繋ぐ循環を生み出し、次年度以降は学生のイベント企画や起業を伴走する「専門支援の事業化」を確立することで、確固たる自主財源を確保し、持続可能な運営基盤を構築します

事業の先駆性・モデル性(※事業の手法など他団体の取組のモデルとなり得るポイントを記載)<300字程度>

独自の「アクティブ対話(体験を他者と振り返り学びに変える手法)」を用い、学生の「やりたい」を地域社会で実践する点にあります。学生が2000人規模のイベントを主導し、行政等と直接協働する「若者を一個人として尊重し大人が伴走する仕組み」は他に類を見ません。
この実践から、学生が自治会広報や不登校支援を担う好循環が生まれ、若者を応援する大人が地域に増えています。若者の孤立やひきこもりが課題となる中、実践の場を通して人材育成と安心安全なコミュニティ創出を同時に実現する本事業は、全国の地域共生・創生を牽引する強力なモデルとなります。

—

—

3. 申請事業の具体的な取組内容

取組①	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)	
	学生の「やりたい」を形にするマイプロ伴走支援(日常拠点)	拡充	7月 ~ 2月	所沢市・周辺地域	所沢Secretbase	
	取組の目的<200字程度>					
	学生の「探究学習」等を起点に、企画立案から実行まで伴走支援します。活動後は「アクティブ対話」で振り返り、アイデンティティと自治力を育みます。この日常的な活動空間をジュニアリーダーの拠点とし、同時に支援が必要な家庭のSOSを拾い上げ専門機関へ繋ぐハブとして機能させます。次年度以降の事業化(自立運営)を見据えた持続可能な伴走モデルを構築します。					
	取組の内容<100字程度>					
	SecretBaseを拠点に、学生の企画書作成や企業等へのアポイント、起業・イベント企画等の相談を日常的に伴走します。大人が専門知識を教え、若者が自治的に活動できる場を常時提供します。					
	対象者	事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額
	中高大学生	月 1回 × 2か月 = 2回		各回 3名 × 2回 = 6名		1名あたり 0円 × 6名 = 0円
従業社員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)			
2名	10名	8団体	所沢東ロータリークラブ、DEKObokom、ROOF、d-encourage、はらこどもクリニック、奥原歯科、民生委員、個人			

取組②	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)	
	多世代・異文化交流および地域参画イベント事業(実践の場)	拡充	7月 ~ 2月	所沢市・周辺地域	所沢Secretbase、各地域公共施設・公園他	
	取組の目的<200字程度>					
	地域イベントへの主体的な参画や、イタリア・川越高校との多世代交流、専門家による体験プログラムを複合的に実施します。学生が地域や多様な価値観に触れることで社会性を育むとともに、地域のシニア層や住民との間に双方向の感動と活力を生み出します。日常の伴走支援(取組①)で生まれた学生の企画を社会実装する場としても機能し、地域全体を巻き込んだ共創コミュニティを構築します。					
	取組の内容<100字程度>					
	Base夏祭り、しんとこフェス、まるっとフェスタ等の企画運営、Deledda高校(伊)との交流、児童館等でのハロウィンやクリスマス会、美容体験・芸術鑑賞等の各種体験を複合的に実施します。					
	対象者	事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額
	小中高大学生	月 1回 × 10か月 = 10回		各回 50名 × 10回 = 500名		1名あたり 80円 × 500名 = 40,000円
従業社員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)			
3名	10名	12団体	マナビダネ、ROOF、d-encourage、DEKOboko、HONDA西埼玉、小手指まちづくりセンター分館、緑町町会(SNS発信・夏祭り)、こぼと児童館(YMCA)明日葉(ひばり児童館・まつば児童館)、KiraccoAmi児童クラブ、所沢東ロータリークラブ、SONY生命			

取組 ③	取組名		新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)		
				~				
	取組の目的<200字程度>							
	取組の内容<100字程度>							
	対象者		事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額	
			月	回 ×	か月 = 0 回	各回	名 × 0 回 = 0 名	1名あたり
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)					
名	名	団体						

取組 ④	取組名		新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)		
				~				
	取組の目的<200字程度>							
	取組の内容<100字程度>							
	対象者		事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額	
			月	回 ×	か月 = 0 回	各回	名 × 0 回 = 0 名	1名あたり
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)					
名	名	団体						

取組⑤	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	取組の目的<200字程度>				
	取組の内容<100字程度>				
	対象者	事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額	
		月 回 × か月 = 0 回	各回 名 × 0 回 = 0 名	1名あたり 円 × 0 名 = 円	
	従業社員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)	
	名	名	団体		

4.申請事業の目標

事業全体の目標				
No.	目標	目標値	測定方法	
1	学生の主体的な企画参画と実践(日常の伴走支援) 地域課題の解決やイベント企画に主体的に関わるコア学生の育成	年間 50名	拠点(SecretBase)の利用名簿	
2	多世代共創・地域イベントを通じた住民との交流 しんとこフェスやまるっとフェスタ、イタリア交流等を通じた、地域住民・他世代との双方向の交流	延べ 800名	イベント開催時の受付人数	
3	ハブ機能(アウトリーチ)による支援への接続 活動を通じた潜在的なSOSの把握と、医療・行政・学習支援等の専門支援への接続	年間 5名	スタッフの相談対応記録	
4	「アクティブ対話」による自己肯定感・社会性の向上 活動を振り返る対話を通じて、学生が自身の成長や地域への所属感を実感する	参加学生の 80%以上	続参加する学生に対し、アンケート調査の集	
5	学生に伴走・協力する「地域の大人」の開拓 シルバー人材センターや企業、地域ボランティア等、活動を応援する地域人材の拡充	年間 延べ 100名	協連携した個人・団体数の集計	
各取組の成果指標				
No.	取組名	目標	目標値	測定方法
取組①	学生の「やりたい」を形にするマイプロ伴走支援(日常拠点)	主体的な企画参画、アクティブ対話 で自己肯定感・自治力の向上。	コア学生:年間50名 / 参加学生の 80%以上が成長を実感	拠点利用・プロジェクト登録名簿の集計、 アンケート実施
取組②	多世代・異文化交流および地域参画イベント事業(実践の場)	地域住民・他世代の双方向の交流 機会の創出。学生の活動に伴走・協 力	イベント等を通じた地域住民・他世 代との交流:延べ800名	イベント開催時の受付人数・来場者数のカウント
取組③	0			
取組④	0			
取組⑤	0			

5. 申請事業の実施に向けた課題とその解決のための取組・工夫等

課題①	具体的な課題	支援が本当に必要な「孤立・不登校傾向にある若者」へアウトリーチし、自発的な参加を促すことの心理的ハードルが高い点。
	課題解決のための取組・工夫	完全無料の「地域のリビング」や、敷居の低い地域イベント(夏祭り等)を入り口として機能させます。市のジュニアリーダー事業や学校とも連携し、「支援」という看板を出さずに、魅力的な「楽しい活動の場」として自然に巻き込む導線を設計します。
	目標	当事者や保護者が心理的抵抗なく参加できる環境を作り、潜在的なSOSを拾い上げて年間5件の専門支援(ハブ機能)への接続を実現する。
課題②	具体的な課題	事業規模の拡大(広域化・多世代化)に伴う伴走スタッフの負担増加と、次年度以降の自立的な活動資金(マネタイズ)の確保。
	課題解決のための取組・工夫	学習支援塾DEKObokoと施設管理やスタッフ配置を共有し、運営費を効率化します。また、3年間で育成した大学生をロールモデル(伴走者)として登用し負担を分散。同時に、これらの伴走支援ノウハウを体系化し、次年度に向けた「専門支援の事業化(有料化)」の準備を進めます。
	目標	スタッフの業務負担を最適化し、助成金終了後も自走できる強固な人員体制と、自主財源を生み出す事業化モデルを今年度中に確立する。
課題③	具体的な課題	参加学生や関わる地域の大人が急増する中で、当法人の強みである「アクティブ対話」の質を落とさず、心理的・物理的に安全な場を保つこと。
	課題解決のための取組・工夫	大人への丸投げ(単なるマッチング)はせず、必ず専門スタッフが間に入り事前調整を行います。また、学生が活動を振り返る「アクティブ対話」のステップをシステム化(マニュアル化)し、経験の浅いスタッフや学生ボランティアでも質の高い対話を引き出せるよう内部研修を強化します。
	目標	関わる人数や規模が拡大しても支援の質を低下させず、参加学生の80%以上が確かな「自己肯定感の向上と居場所の安全性」を実感できる体制を維持する。

6. 3年後(2029年度)、法人がどのように成長しているか<300字以内>

3年後の2029年度には、無料の「地域のリビング」を入り口とし、専門的な伴走支援等へ繋ぐ循環モデルを確立し、拠点の管理費等を自主財源で賄える自立した経営基盤を構築しています。この3年間で、経済的負担なく学生が人・物・場所と繋がり、自身の「やりたい事」を実現できる共創環境を地域に定着させます。さらに4年目以降の展開を見据え、当法人の強みである伴走支援や「アクティブ対話」の専門的ノウハウを体系化します。人材育成と配置の仕組みを整えて支援の質を担保し、この埼玉型ユース・ハブのモデルを広く他地域や他団体も活用できる社会資源へと成長させています。

収支予算書

法人名 NPO法人 子ども地域ネットワーク所沢
 事業名 『地域共創ユースラボ』～学生と専門家が共に挑む地域活性化・自治空間創出プロジェクト～

1. 収入の部											319,520			
項目				予算額(円)			積算内訳							
a.助成金交付申請額				279,000			※千円未満切り捨て/採択区分により補助率と交付額が変わる可能性があります							
b.自己資金				520			※自動計算							
c.事業実施による収入等				40,000			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)	地域イベント収益	(該当する事業)	事業2	40,000	200	円	×	100	人	×		2	回	
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
d.その他				0			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
2. 支出の部											319,520			
項目				予算額(円)			積算内訳							
a.会場費				27,720			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	所沢市民体育館(不登校生徒の運動機会と交流の機会提供)	(該当する事業)	事業2	27,720	9,240	円	×	3	回	×				
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
b.通信運搬費				0			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
c.旅費交通費				21,000			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	活動に伴う移動・運搬経費・外部連携(川越市、各学校等)への打合せ旅費	(該当する事業)	事業1	6,000	1,500	円	×	2	回	×		2	回	
(支出の内容)	活動に伴う移動・運搬経費・外部連携(川越市、各学校等)への打合せ旅費	(該当する事業)	事業2	9,000	1,500	円	×	6	回	×				
(支出の内容)	活動に伴う移動・運搬経費・外部連携(川越市、各学校等)への打合せ旅費	(該当する事業)	事業2	6,000	1,500	円	×	2	回	×		2	回	
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×				
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×				

d.消耗品費				160,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	イベント制作・景品	(該当する事業)	事業1	160,000	20,000	円	×	8	回	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
e.備品費				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
f.委託費				63,800	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	東京カラー印刷	(該当する事業)	事業2	40,000	20,000	円	×	2	回	×		
(支出の内容)	川越観光(シルバー人材派遣センター)	(該当する事業)	事業2	23,800	3,400	円	×	7	グループ	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
g.謝金				47,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	たらったらった(大道芸・芸術鑑賞と体験)	(該当する事業)	事業2	32,000	32,000	円	×	1	回	×		
(支出の内容)	NPO法人ROOF(不登校生徒等の運動機会と交流の場の提供)	(該当する事業)	事業2	15,000	5,000	円	×	3	回	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
h.人件費				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
i.その他				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		